








☑ 決裁    ○ 供覧

※決裁区分については、決裁権者の欄の( )内に☑をつけること。

文書番号      取      第      号

市長( )	副市長( )	部長(☑) 	次長 	課長( ) 	副参事 	課長補佐 	係長 
合 議				起 案	R2 ・ 4 ・ 1		
				施行予定	R2 ・ 4 ・ 1		
				決裁(関了)	R2 ・ 4 ・ 1		
				完 結	R2 ・ 4 ・ 1		
あて先  各位				発信者名  政策推進課			
件 名 <hr/> 4月1日庁議報告及び次回庁議開催について <hr/>							
上記のことについて別記のとおり <input type="checkbox"/> 照会 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 報告 <input type="checkbox"/> 実施   してよろしいか伺います。 <input type="checkbox"/> 申請 <input checked="" type="checkbox"/> 通知 <input type="checkbox"/> 決定   します。							
個別フォルダー名				保存期間	永年 <u>10年</u> 5年   3年   1年		
施行取扱上の注意 全部署あてに課メールにて配信します。				起案者			
				政策推進			部
				政策推進			課(所)
				企画			係(室)
				氏 名			
				中川 勇紀			

 高橋

## 庁議報告

### 1 開会

#### 【市長より】

令和2年度となり、新たな出発の日となりますが、昨今のコロナウイルス関連により先が見通せない状況にあります。本日の辞令交付式において、新規採用職員に対して、これから先の時代は定型的な業務だけでなく、様々な課題に柔軟に対応できるようになる必要がある為、日々勉強し、感性を磨いていってくださいということと、情報の取り扱いの重要性について話をしました。庁議メンバーも新たな体制となりますが、横の連携を密接にし、ひとつのチームとして頑張っていきましょう。

### 2 新庁議メンバー紹介

- ・ 総務部長                      鈴木 文江
- ・ 政策推進部長                井橋 貞夫
- ・ 財政部長                      牧野 妙子
- ・ 福祉部長                      稲葉 芳弘
- ・ 健康増進部長                大野 安史
- ・ まちづくり振興部長        野口 昇
- ・ 建設部長                      前野 拓

### 3 報告事項

■「第二期子ども子育て支援事業計画」の策定に伴う市民意見公募（パブリックコメント）の結果について

■「第四次取手市保育所整備計画」の策定に伴う市民意見公募（パブリックコメント）の結果について

#### 【福祉部】

「第二期子ども子育て支援事業計画」及び「第四次取手市保育所整備計画」の両計画について、1月15日から2月14日までの1ヶ月間パブリックコメントを実施しました。「第二期子ども子育て支援事業計画」については意見の提出はございませんでした。「第四次取手市保育所整備計画」については意見提出者が17名、提出意見数18件となり、提出された意見については今後の取組において参考とすることとしました。内容については、戸頭北保育所の廃止について反対・存続についての意見が12件、待機児童問題についてが6件となります。

令和2年 4月 1日  
政 策 会 議 室

## 庁 議 次 第

1 開 会

2 新庁議メンバー紹介

3 報告事項

■「第二期子ども子育て支援事業計画」の策定に伴う市民意見公募（パブリックコメント）の結果について

【福祉部】






■「第四次取手市保育所整備計画」の策定に伴う市民意見公募（パブリックコメント）の結果について

【福祉部】

4 その他

5 閉 会

庁議付議依頼書

部長	次長	課長	課長補佐	係長	係
					

提出年月日	令和2年3月23日	付議年月日	令和2年4月1日
提出部課名	福祉部 子育て支援課		
案件題名	「第四次取手市保育所整備計画」の策定に伴う市民意見公募（パブリックコメント）の結果について		

付議事項別内容

審議	<審議事項要旨>
	<特に審議を求めたい事項>
報告	<p>&lt;報告事項の要旨&gt;</p> <p>令和2年1月15日(水)から2月14日(金)までの1か月間実施しました市民意見公募（パブリックコメント）の結果報告。                  意見提出者17人・提出意見数18件・意見項目数18件。                  結果につきましては、市のホームページ及び子育て支援課、藤代総合窓口、取手支所、取手駅前窓口、各公民館、各図書館、各公立保育所・子育て支援センターで公表となります。</p>
その他	<事案の要旨>

※審議・報告・その他のいずれかに○を付してください。

参考資料（別添）

- ・「意見公募によって提出いただいた意見及び反映結果（様式6）」

## 意見公募によって提出いただいた意見及び反映結果

施策案の名称	第四次取手市保育所整備計画	
意見募集期間	令和2年1月15日から令和2年2月14日まで	
意見提出者数	17人	
提出意見数	18件	
意見項目数	18件	
意見提出の内訳	直接窓口へ持参	5人 5件
	郵送	4人 4件
	ファクス	4人 4件
	電子メール	5人 5件
意見の反映結果	A 案に反映させたもの(反映・修正箇所がわかるものを添付)	0件
	B 意見の趣旨が既に案に盛り込まれているもの	0件
	C 今後の取り組みにおいて参考にするもの	18件
	D 案に反映できないもの	0件
	E その他(感想・賛否のみなど)	0件
匿名等による意見提出者数	0人	

※意見公募は政策等の賛否を問うものではありません。有用な意見を政策等に反映させるため、意見の内容に着目し、これを考慮した市(実施機関)の考え方を掲載しています

※類似の意見に対しては、まとめて市(実施機関)の考え方を掲載したものがある場合は、意見項目数と一致しません

※詳細は別紙のとおり

## 提出された意見と市の考え方

番号	該当ページ	意見	市（実施機関）の考え方	反映区分
1	P7	<p>今回第二期取手市子ども・子育て支援事業計画（素案）と第四次取手市保育所整備計画（素案）を拝見いたしました。</p> <p>戸頭北保育所に入れて安心して働けるといいう中で、急な保育所廃止案にとっても驚き、不安な日々を送っています。</p> <p>他の市も公立保育所が減っていつの間、取手市は6ヶ所運営されているのはとても素晴らしく頑張ってきたのだと思います。老朽化で子ども達の安心、安全を守る事、予算が厳しい事を考えると一概に反対とは言えません。</p> <p>しかし、他の保育所のようにいずれ綺麗になるのではないかと、ここで卒園して、いずれは兄弟もここに、通わせたいと思っていていた者としてはとても裏切られたような感覚でいます。</p> <p>せめて、今いる子ども達が戸頭北保育所を卒園できるまで廃止しないでほしいです。</p> <p>私がここで一番訴えたいことは、現在まだ待機児童がいる状態で、課題や目標にも0にしたいと素案には書かれています。他の園が新しくなり、そこに入れば問題解決のように書かれています。どこに入ろうかは利用者の選ぶ権利があります。今回の5年間は新しくなって、どう利用状況が変化するかもう1度評価してから、次回の計画の時に検討するでも遅くないのではないのでしょうか？</p>	<p>戸頭北保育所は昭和50年に建築され、建築後45年が経過しております。老朽化という喫緊の課題に対応するため、第四次取手市保育所整備計画の計画期間である令和2年から令和6年の間に、戸頭北保育所の廃止について時期も含め、検討していきますようお願いいたします。</p>	C
2	P7	<p>戸頭北保育所の廃止に反対します。</p> <p>戸頭北保育所は駅から近く、電車通勤をする人にはとても便利です。</p> <p>保育所の周りは団地になっており、安全な登園が出来るのも魅力です。</p> <p>確かに老朽化で、ボロボロになっていますが、風通しがいいので、他の園に比べてウイルス等の感染力が低いと思います。</p> <p>また、1クラス辺りの人数も少ないので、</p>	<p>戸頭北保育所は昭和50年に建築され、建築後45年が経過しております。老朽化という喫緊の課題に対応するため、第四次取手市保育所整備計画の計画期間である令和2年から令和6年の間に、戸頭北保育所の廃止について時期も含め、検討し</p>	C

	<p>先生の目が届きやすく、1人1人をしっかりと見てくれます。</p> <p>そんな良い保育所をなくさないでください。</p> <p>以前、廃止について質問した時に、戸頭・永山地区のこども認定園や私立保育園の施設整備により保育定員数の拡充が図られて受け入れの確保が見込め、市の財政状況からしても改築ではなく廃止で少子化の影響ではないとの回答を頂きました。受け入れしてくれるならどこでもいい訳ではなく、通勤時間や延長保育料金等を考えて選んでいます。公立保育所から廃止していくのは、困ります。また私立やこども認定園は、民営がやっているため、利益がなければ簡単に廃園になってしまうのではないですか？</p> <p>もし今後私立やこども認定園が廃園になってしまった場合とかは、考えているのでしょうか？</p> <p>近年、保育士の暴言や体罰等を行って問題になっているのは私立やこども園といったところで、そういったところに通わせるのは不安があります。</p> <p>もちろん私立やこども認定園でもいいところはありますが、実際に取手市でもありニュースになっていました。古い話にはなるかと思いますが、近場では戸頭東保育所でもあったかと思いますが、今はその先生はいないと思いますが、そういったところはどうお考えでしょうか？</p> <p>公立保育所の数をこれ以上、減らさないでください。</p> <p>少子化で子どもは減っているのかも知れませんが、待機児童はまだいます。子どもが減っているからと、場所を無くしてしまうと、預ける場所が遠くなり、預けに行くだけでも時間がとられます。車で行けばすぐかもしれませんが、全員が車にのれる訳ではありません。自転車だつてのれない人はいます。現に私はどちらも乗れないので歩きのみです。職場には通勤に1時間～2時間かかるところに配属になります。時短勤務は6時間までしか短縮が出来ないですし、</p>	<p>ていくことに、ご理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>民営化となる場合は、保護者のご意見も反映されるよう事前協議を実施してまいります。</p> <p>また、運営法人選定委員には、学識経験者、保護者代表、公立保育所の保育士も含めた構成とし、保育園の運営を継続的かつ安定的に実施できる適切な事業者を選んでまいります。</p> <p>なお、適切な保育が実施されるよう、引き続き指導監査や巡回指導により運営状況を確認してまいります。</p> <p>待機児童が発生している主な原因は、施設の確保不足ではなく、保育士不足により定員まで入所できないこととあります。保育需要にお応えするため、廃止や民営化した公立保育所の保育士について、他の公立保育所へ配置替えをし、定員まで入所できる施設を増やすことで待機児童の解消と更なる手厚い保育の実施が期待できると考えております。</p> <p>これからも保護者の皆様に丁寧にご説明させていただき、廃止となる場合は在園児の移籍に関しまして、できる限りの配慮をさせて頂きたいと考えております。</p>
--	---	--

		<p>お客様を相手に仕事をしているので時間になったからとすぐに帰ることはできず、延長保育を使ってもギリギリの時があります。私立等に入れば制服代や雑費がもっとかかるので、仕事をしてもお小遣い程度の稼ぎにしかならず、仕事をする意味がなくなります。</p> <p>財政難なら仕事をする人を増やして税収を増やしていくべきなのではないでしょうか？仕事をする人を増やすなら、住みやすい環境作りが大事なのではないのでしょうか？改築の予算がないともありましたが、公立なので立派なのを建てるのではなく、必要最低限あれば、もっと低予算で出来るのではないのでしょうか？</p> <p>なないろ保育所はすごい綺麗ですが、公立保育所にそこまでお金をかける必要性があるのでしょうか？床暖房や最新の設備は要らないと思います。戸頭北保育所を廃止にせず、改築の検討をお願いします。それでも廃止にするのであれば、今在園の0歳時クラスまでの卒園を保証をしてほしいです。</p> <p>卒園までいれないと分かっていたら、園によってはそろえるものやその他の雑費等を考えて、別の園を選んでいるのではないですか？</p> <p>第4次計画では、今の在園児の卒業後に廃止予定計画にして、第5次計画の時にいつ廃止にするかを明確に提示すれば良いのではないのでしょうか？検討をお願いします</p>		
3	P7	<p>私も子育て中戸頭北保育所に助けられ、東京に通勤しながら3人の子どもを育てることができました。駅に近くまわりの人々のあたたかな見守りもあってとても良い保育所だと思います。地域に子供たちの元気な声をひびかせ、元気をもらっています。高齢化の中で、幼子の姿、声は地域を元気にします。ぜひ存続を願っています。</p>	<p>戸頭北保育所は昭和50年に建築され、建築後45年が経過しております。老朽化という喫緊の課題に対応するため、第四次取手市保育所整備計画の計画期間である令和2年から令和6年の間に、戸頭北保育所の廃止について検討していくことに、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>	C



4	<p>P7</p> <p>第4次取手市保育所整備計画を拝見しました。4.第四次計画の整備方針(7ページ) ①戸頭・永山中学校区の戸頭北保育所の廃止の検討について 廃止を検討していることに対して、強く公立の戸頭北保育所の存続を求めます。 〈理由〉 1.素案を読んでもみましたが、より良い保育環境や保護者のニーズにこたえるためなどの目的とする計画かどうかたっていますが矛盾していると思います。 親の1番のニーズは、保育所が住まいの近くにあることと以前の計画のアンケートで把握していると思います。公立の保育所に入りたければ永山保育所に行けとなると戸頭の人にとっては不便になります。朝の忙しい時間に永山まで行くことは保護者にとっても大変な負担になります。 「近くに民間の保育所が受け入れ人数も増やして、施設を建築しているからそちらに」と誘導することは、公立だから入りたいというニーズにもこたえていません。また、市が選択肢を多くするという事とも矛盾するのではないのでしょうか。 2.老朽化しているので改修するには費用がかかる。だから廃止するのでしょうか？私たちの税金は未来を担う子供たちのためにこそ使ってほしい。他の大型開発にかかる膨大な費用と比べれば大変少ないものです。ぜひ存続をお願いしたい。 3.中学校区を基本として4つの区域に1つの公立保育所に整備するという第2次計画であったが、中学校区の一つというなら戸頭中学校区と永山中学校区を単なる人数が減るであろうという憶測で一緒にするのは納得がいきません。 一方、地域適正化計画では戸頭地区に人を集めるという計画もあります。戸頭中学校を一つの学区として公立保育所を残すことは人を集めることにも大いに貢献するでしょう。</p> <p>P8</p> <p>②藤代・藤代南中学校区中央保育所の民営化について 公立としての存続を希望します。藤代中</p>	<p>戸頭北保育所は昭和50年に建築され、建築後45年が経過しております。老朽化という喫緊の課題に対応するため、第四次取手市保育所整備計画の計画期間である令和2年から令和6年の間に、戸頭北保育所の廃止について時期も含め、検討していくことにご理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>取手市子ども・子育て支援事業計画において、市内を東部・中部・西部・北部の4つの区域に分けて、中学校区域を設定しました。4つの区域に公立保育所1か所配置の考え方を基本とし、公立保育所のあり方について検討していくこととしました。</p> <p>公立保育所を4つの区域にバランスよく配置することで、地域の子育て支援の中核や障害のある子どもの受け入れ等の役割を担ってまいります。</p> <p>民間施設の役割としましては、定員確保の中心的な役割や、病児・病後児保育、休日保育、延長保育の拡充等、柔軟な対応サービスの提供を担ってまいります。</p> <p>役割を明確にすることで、更なる保育の質の確保や保育サービスの向上が期待され、多様化する保育ニーズへの対応が可能となりますのでご理解いただきますようお願いいたします。</p>	C
---	--	--	---

		<p>と南中を1つの学校区とせず2つの中学校区として公立保育所を存続してください。藤代を1つの中学校区にするには広すぎます。</p> <p>以上公立保育所を中学校区の一つを基本として考えて6つとして下さることを希望します。戸頭保育所にわが子を預けて大変子育ての勉強をすることができました。保育士さんたちにもたくさん教えていただきました。公立の良いところを広めていくためにも1中学校区に1つの公立保育所の存続を強く求めます。特に「地域の特性を生かした保育」と言っていますが駅にも近く都内に通う保護者にとっても便利な特性をいかした戸頭北保育所の存続を強く願います。</p>		
5	P7	<p>広報「とりで」に掲載されました第四次取手市保育所整備計画(素案)について、当団地自治会の役員会で議論となりました。</p> <p>ご存知のように、戸頭団地も高齢化が進行する中、自治会としても子育て世代を地域の中に住んでもらうため様々な取り組みをこれまで進めてきました。こうした中、数年前に取手市立戸頭東保育所が民営化され東保育園になり、その後、幼児虐待や不明朗な会計処理が大きな問題となりました。</p> <p>今回の素案では、地域に残っていた北保育所の廃止が計画されています。これで公立保育所が地域から全く無くなります。</p> <p>今後の人口想定や、乳児、幼児の人数など、様々な要因が説明されていますが、こうした説明では、行く先は過疎の町となります。これまで団地自治会が努力してきた取り組みを行政がどのように把握されてきたのか不明です。また、子育て環境の充実について、行政がどのように取り組むのか、町づくりという視点でも理解できかねます。</p> <p>昨年10月の立地適正化(案)についての「説明会」も台風接近の中、延期しましたが住民への周知が不十分のままの開催となり、当初参加を予定していた方が参加できませんでした。また、戸頭西小の統廃合の</p>	<p>第三次取手市保育所整備計画から課題でありました、戸頭北保育所の老朽化について、検討を続けてまりました。</p> <p>戸頭北保育所は昭和50年に建築され、建築後45年が経過しております。老朽化という喫緊の課題に対応するため、第四次取手市保育所整備計画の計画期間である令和2年から令和6年の間に、戸頭北保育所の廃止について時期も含め、検討していくことといたしました。</p> <p>保護者の皆様には丁寧な説明をしてまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>また、行政情報や個別計画(案)を市民の皆様にお届けし、またそれに対するご意見等をいただくための手続きについては、パブリックコメントを含めた現在の方法を、全庁的な取り組み方としておりますのでご</p>	C

		<p>際も地域住民とのコンセンサスが不十分なままとなりました。</p> <p>今回の整備計画（素案）も、地域住民にとって大きな問題であるにも関わらず、広報で主旨を掲載し、詳細はホームページや公民館で見なさい。意見はお聞きしますというものです。</p> <p>戸頭団地自治会は、計画案（素案）について、計画を固める前に、住民を対象にした説明会を開催すべきと考えます。以上、ご検討下さるようお願いいたします。</p>	<p>理解をお願いしたいと思います。</p>	
6	P7	<p>戸頭北保育所廃止（案）について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子ども達は“次世代の夢・希望”である</li> <li>2. 子ども達は“地域活性化”（明るい取手の柱・財産である。</li> <li>3. 若い人達の働ける環境造りは地域活性化の礎である。</li> <li>4. 北保育所の廃止（案）について <ol style="list-style-type: none"> <li>4-1. 老朽化の状況に再考の余地はないのか？</li> <li>4-2. 子育ての環境（戸頭駅近、利用時間及び駐車・輪場）が極めて良好で改築の余地はないのか？</li> <li>4-3. 移転（移動）に当たっては北保育所の環境確保を優先し検討頂きたい。</li> </ol> </li> <li>5. 子供たちの笑顔・笑い声に各種イベント（まつり・運動会他）は地域老人（老令者）の生きる励み一助でもある。</li> </ol> <p>※戸頭おやすみ処での“ジジババ”たちの一部の声です※</p>	<p>戸頭北保育所は昭和50年に建築され、建築後45年が経過しております。老朽化という喫緊の課題に対応するため、第四次取手市保育所整備計画の計画期間である令和2年から令和6年の間に、戸頭北保育所の廃止について時期も含め、検討していくことにご理解いただきますようお願いいたします。</p>	C
7	P7	<p>はじめに</p> <p>取手市保育所整備計画は平成16年度から策定して、その一環として第4次計画であるということをご認識しました。本計画は「本市は、市民のニーズをふまえて充実した保育が提供できるよう、計画的に環境整備をすすめるため」のものであること、「今後も本市の特色を維持しながら、より良い保育環境の構築を目指すために」策定したことを押さえておきたいと思っております。</p> <p>意見</p> <p>①公立の保育所をどんどん減らしていこうとする市の姿勢を見直して欲しい意見</p> <p>取手市の子ども保育に、市が直接責任</p>	<p>公立保育所と民間施設の役割としまして、公立保育所は、地域の子育て支援の中核や障害のある子どもの受け入れ等の役割を担い、民間施設の役割は、定員確保の中心的な役割や、病児・病後児保育、休日保育、延長保育の拡充等、柔軟な対応サービスの提供を担ってまいります。</p> <p>役割を明確にし、公立保育所を4つの区域にバランスよく配置することで、更な</p>	C

を持って運営、管理していく保育所が、公立の保育所です。公立であることは保護者にとっては本当に安心して任せられるという信頼があり、だからこそ、若い世代が安心して働き続けることができ、かつ、健やかな子どもの保育の為に市が応援してくれるというエールにもなっていると思います。

少子化に伴い子どもの数は減り続けるという見通しが根底にあるようですが、現に待機児童は昨年10月では43人もいるという報告もありました。つまり子どもの数は減っていても、働きながら子育てをしたいという若い世代が増えているということを表しています。実際に待機児童がいるにもかかわらず、保育所を減らしていくということにも、納得ができません。

市は12か所あった公立保育所をどんどん減らし続け、今回の計画では4か所にするという計画ですが、ぜひ見直しをして、若い世代への子育て応援を削らないでほしいと思います。未来を担う子どもにこそ、税金は使うべきであり、取手に住みたくなくなるような子育て支援をお願いしたいと思います。それは市の大きな特色にもできるものです。それこそが少子化対策の一番の方策だと思います。

#### ②戸頭北保育所を廃止にしないでほしい意見

今回の計画では戸頭北保育所の廃止計画が唐突に打ち出され、現在保育所に子どもを通わせている保護者の方々は大変驚き、大きな不安に駆られています。のみならず、元北保育所のOBの方々や地域の方々も同様に驚き、何故？どうして？と疑問に思っている方が少なくありません。

戸頭北保育所は地域に根付き、とても愛されている保育所です。なによりも駅に近く、立地条件がとても良い保育所です。車を使わず電車通勤の方にとっては大変便利です。大きなニーズの一つの要素になっています。更に公園、公民館、子育て支援センターに隣接し、団地の真ん中を通る車の来ないカラー道路も目の前にあり、本当に地

る保育の質の確保や保育サービスの向上が期待され、多様化する保育ニーズへの対応が可能となりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

また、民間施設であっても、保育の責任は行政にありますので、公立私立の違いはありません。

待機児童が発生している主な原因は、施設の確保不足ではなく、保育士不足により定員まで入所できないことであります。保育需要にお応えするため、廃止や民営化した公立保育所の保育士について、他の公立保育所へ配置替えをし、定員まで入所できる施設を増やすことで待機児童の解消と更なる手厚い保育の実施が期待できると考えております。

戸頭北保育所の老朽化という喫緊の課題に対応するため、改築や廃止等について協議してまいりました。

戸頭北保育所は昭和50年に建築され、建築後45年が経過しております。老朽化という喫緊の課題に対応するため、第四次取手市保育所整備計画の計画期間である令和2年から令和6年の間に、戸頭北保育所の廃止について時期も含め、検討していくことに、ご理解いただきますようお願いいたします。

		<p>域に溶け込んでいるオープンな保育園です。こんないい保育園を無くさないでほしいのです。「老朽化が進み」ということがありますが建て替えとまではいかななくても改修、リフォームをして、何とか存続させてほしいと思います。</p> <p>戸頭、永山中学校校区に公立保育所は一か所という機械的な線引きは、実際に利用している保護者にとっては理不尽なことだと思います。永山保育所に通うには車で行かなければならず、車の無い方は公立に預けることができません。車が無くても預けられる駅近の保育所、公立の保育所というのも大きなニーズであり、多様なニーズにこたえようとしている今回の計画から、かけ離れるものです。より良い保育環境の構築の為に、北保育所を廃止するのではなく、是非改修工事を実施して存続させ、安心して子育てできる地域づくりを進めて欲しいと思います。以上です。</p>		
8	P7	<p>日頃より、子育て支援に向けた保育環境整備等のご尽力に深く感謝申し上げます。</p> <p>さて、素案によれば平成16年度からの「保育所整備計画」に基づきより良い保育環境の構築に向け、公立保育所3所の民営化、老朽化保育所の統合と跡地に新保育所の開所等が行われ、本第四次では戸頭北保育所の廃止検討が含まれています。</p> <p>戸頭北保育所の廃止検討について、以下の通り要望意見を述べます。</p> <p>戸頭地区世帯は高齢化が進んでいるが、駅前近くに保育所があることで地域の活性化が図られ子育て世帯の転入が今後も見込まれます。また、URも入居促進策としてTVコマercialの実施や東京芸大とのコラボによる外壁の再塗装等、また各室のイノベーションも順次進められ住みやすい街・子育て世帯の転入に一定の成果が出ていると思われます。</p> <p>戸頭北保育所は自然環境や住宅緑地ならびに公園環境が整っており保育環境が良好となっており、毎朝ラジオ体操の音楽と子供たちの声が聞こえ散歩する子供たちが街を明るくしています。</p>	<p>戸頭北保育所は昭和50年に建築され、建築後45年が経過しております。老朽化という喫緊の課題にどう対応するか協議してまいりました。</p> <p>戸頭北保育所がある戸頭・永山中学校区域には、7か所の教育・保育施設がありますが、近年の私立保育園と認定こども園等の施設整備により保育定員数の拡充が図られました。戸頭北保育所の定員について、同区域内と隣接する区域の供給量により受入れの確保ができると思込まれることから、改築ではなく第四次取手市保育所整備計画の計画期間である令和2年から令和6年の間に廃止について時期も含め、検討していくことといたしました。</p> <p>なお、廃止となる場合</p>	C

	P13	<p>「第二期取手市子ども・子育て支援事業計画素案」のアンケートによれば、保育所を選ぶ上で自宅に近いことまた保護者の通勤経路から選択することが考えられるとなっています。戸頭北保育所はこの間駅近の保育所として利便性が高く一定の役割を保護者ニーズに応じてきました。また、戸頭地域子育て支援センターも隣接しており子育て世帯の支援サービス・情報交換の場として北保育所と連携し広く利用されています。</p> <p>こうした中、この間の保育所整備計画によって戸頭東保育園では38名、あづま幼稚園は88名の定員拡大がされていることもあり、建物の老朽化と併せて戸頭北保育所の廃止検討が進められています。これにより在籍する児童90名については、同区域内と隣接する区域の公立保育所と民間施設で受入確保が可能とされています。</p> <p>しかし、特にあづま幼稚園は同区域内ではあるが戸頭地区から遠く児童の転籍に伴い通園時間の増加、居住地転居の発生、保護者の就労形態の変更や会社退職等、これにより家庭内環境も大きく変化することが危惧されます。他の保育施設に転籍する場合も同様。単なる数合わせによる分散をするのではなく以上の諸問題が発生するため北保育所の廃止については保護者の意見を十分踏まえ慎重な検討と対応をお願いします。なお、廃止となった場合には、戸頭北保育所に在籍している児童全員が希望する保育所等に転籍できるよう十分時間を取り特段の配慮・対応を要望します。</p> <p>また、「6. 待機児童の解消」に於いて、令和3年以降市全域では解消できるとされていますが、戸頭・永山区域は他3区域と比べ児童数比率も高く、2号(3～5歳)及び3号(1・2歳)では、今後も定員不足が見込まれ一部待機児童の解消がされない予測となっています。こうした将来予測が見込まれる中で戸頭北保育所の廃止検討のみとするのではなく改築検討もすべきと考えます。</p>	<p>は、廃止までの期間内に、在園児の人数を調整して、廃止時の影響を極力抑えてまいります。さらに卒園児を除いて他の施設に振り分けられることとなりますので、影響されるのは戸頭北保育所定員の90名ではなく半数程度ではないかと思込んでいます。その上で、在園児の移籍に関しまして、保護者のご意見をうかがい、できる限りの配慮をさせて頂きたいと考えております。</p> <p>戸頭地域子育て支援センターは、地域の子育て支援の拠点として引き続き設置してまいります。ご理解いただきますようお願いいたします。</p>	
9	P13	<p>現在1人の未就学児を持ち、市が行うBPプログラム、子育て支援センター、キッズプ</p>	<p>戸頭北保育所は昭和50年に建築され、建築後45年が</p>	C

		<p>レイルーム等、様々な支援サービスを利用させていただいています。初めての子育てをしていく上で、現在行われている子育て支援事業が心の支えとなり、とても感謝しております。</p> <p>戸頭・永山中学校区域の戸頭北保育所の廃止について以下の通り要望意見がございます。</p> <p>「6. 待機児童の解消」についてですが、戸頭・永山中学校区域が他の地域より定員不足が目立ち、第四次計画内に廃止するのは難しいと感じます。「第二期取手市子ども・子育て支援事業計画素案」の児童数の推計結果で、他の地域は減少傾向にある中、戸頭・永山中学校区域だけは上昇傾向にあります。将来児童の増加が予測出来るのであれば、廃止ではなく改築をして、待機児童をこれ以上増やさない計画に変更を希望致します。</p> <p>廃止となった場合、現在通っている園児は戸頭東保育園とあづま幼稚園の定員を拡充させて補うとありますが、戸頭東保育園は現在の保育所から近く通う事が可能ですが、あづま幼稚園は戸頭北保育所から離れていて通うのには困難です。車を利用せずに通う場合、駅から離れた場所にある為、通うのにとっても時間がかかります。徒歩で通わせる事を考え住居を選らんだ家庭も多く、戸頭東保育園の希望が多い事を考えると、38名の定員増加では人数が足りません。</p> <p>取手市も女性就業率の上昇に伴い、共働き家庭が増加しています。企業に対する情報提供を通じて、職場環境の整備を促進していただいている事に、とても感謝しております。しかし、預けられる環境が無ければ働く事が出来ません。よって、希望する園に通う事が出来る様、事前に保護者の意見を確認した上で、廃止時期のご検討をお願い致します。</p>	<p>経過しております。老朽化という喫緊の課題に対応するため、第四次取手市保育所整備計画の計画期間である令和2年から令和6年の間に、戸頭北保育所の廃止について時期も含め、検討していくことといたしました。</p> <p>なお、廃止となる場合は、廃止までの期間内に、在園児の人数を調整して、廃止時の影響を極力抑えてまいります。さらに卒園児を除いて他の施設に振り分けられることとなりますので、影響されるのは戸頭北保育所定員の90名ではなく半数程度ではないかと見込んでします。</p> <p>在園児の移籍に関しまして、保護者のご意見をうかがい、できる限りの配慮をさせて頂きたいと考えております。</p> <p>待機児童が発生している主な原因は、施設の確保不足ではなく、保育士不足により定員まで入所できないことであります。保育需要にお応えするため、廃止や民営化した公立保育所の保育士について、他の公立保育所へ配置替えをし、定員まで入所できる施設を増やすことで待機児童の解消と更なる手厚い保育の実施が期待できると考えております。ご理解いただきますようお願いいたします。</p>	
10	P8	<p>第1子が0歳の時から中央保育所にお世話になり、今年で●年目になります。パブリ</p>	<p>公立保育所と民間施設の役割を明確化することで、</p>	C

		<p>ックコメントに先立ち、中央保育所の役員向けの説明会に参加しました。説明会参加前は、「中央保育所が民営化する」ことへの不安がとても大きかったです。先生方変わり、保育所の方針も環境も大きく変わり、今、●歳児・●歳児クラスにいる我が子達は順応できるだろうかと心配でした。説明会にて、整備計画の概要や、民営化の流れ、民営化に当たり取手市が対応されていることなど、十分に時間を取って説明して下さいました。公立保育所は手厚い体制を取って下さり、先生方は丁寧に優しく接して下さいるので、安心して子供達をお願いします。感染症対策も徹底されてたり、近隣の公立小中学校との交流があったりと、子供達にとっても良い環境を提供して下さいていることをありがたく思います。民営化することで、教育部門の充実、延長保育時間の更なる延長、病後児保育の実現なども将来的には期待できるのかなと願っています。</p> <p>ただ「中央保育所は民営化」という方向なので前向きに考えることもできますが、「戸頭北保育所は廃止」案が出ており、戸頭北に通う方々はやはり不安の方が大きいと思います。この5年間、在園児達にとっては大きな転換期になるので、子供達が大きな混乱なく楽しく保育所生活を送ることが出来ることを祈ります。</p>	<p>更なる保育の質の確保や保育サービスの向上が期待され、多様化する保育ニーズへの対応が可能となると考えております。</p> <p>公立保育所のあり方を検討していくにあたり、保護者のご意見をうかがい、丁寧な説明とできる限りの配慮をしてまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>	
11	P8	<p>民営化する理由の1つとして保育士の不足とありますが、取手市内の保育所でも2歳児以上（特に3歳児以上）のクラスで入れる可能性がある保育所がいくつも見られました。（市のHP、2019年12月の空き状況参照）</p> <p>また、H31年度は0歳児4人、1歳児11人の待機児童がいたそうですが市の職員配置基準で考えてもあと5人いれば足りる計算です。</p> <p>本当に戸頭北保育所を廃止、中央保育所を民営化してまで他の公立保育所に職員を補充しなければ足りないのでしょうか？職員がたくさん集まったからといって入所できる定員数も決まっているので0歳児や1歳児の希望者が全員入れるというものでもな</p>	<p>保育士確保につきましては、全国的に保育士が不足していることから困難な状況であります。</p> <p>廃止や民営化した公立保育所の保育士について、他の公立保育所へ配置替えをし、定員まで入所できる施設を増やすことで待機児童の解消につながると考えております。</p> <p>また、今後の退職予定者や育休取得予定者のほかに、お子様の状況に応じて、加配保育士が必要とな</p>	C



		<p>いですよ。</p> <p>「子育て支援に重点をおいている」というのが本当なら、公立を減らすこと自体違和感を覚えます。</p>	<p>る場合もあり、より多くの保育士を必要としている状況であります。</p> <p>これからもより良い保育環境の提供を目指してまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>	
12	<p>P6</p> <p>P15</p> <p>P8</p>	<p>・「第四次取手市保育所整備計画」について、大枠としては反対の立場であるので、以下に理由を示します。</p> <p>①公立保育所の役割への再評価を</p> <p>公立保育所の役割として、民間が対応できない場面も想定したセーフティネットの機能を重視するべきであると考えます。近年の災害や保護者の突然の就労形態の変更など、子どもの保育を巡る環境も想定外の事態が起こることを十分に考えておくべきです。その点では、いざという時の受け皿にもなり得る公立保育所とその受け入れ定員を安易に削減するべきではないと考えます。特に、今回名前の挙がっている「中央保育所」や「戸頭北保育所」についても、定員を満たしていない訳ではなく、このことは公立保育に対する需要がある、更に言えば、公立保育に対する需要が大きいという証ではないでしょうか。</p> <p>②保育士増による保育の充実を</p> <p>公立保育の充実は、施設の削減による機能と定員の集約化ではなく、正規雇用の保育士の採用増による安定した保育環境の整備にこそあると考えます。元々、市内を4つの中学校区に分けて考えることの根拠も薄く、設置場所が集約されることは通勤時間などに制約を抱える保護者にとっては就労条件での致命的な問題にもなりかねません。乳幼児本人にとっても、保護者にとっても身近な地域に、安心して預けることのできる保育所がある、そしてそこに経験豊富で信頼のおける保育者がいるという安心感こそが大切なのではないでしょうか。同様に、子育て支援センターについても市が責任をもって管理・運営を行うべきである</p>	<p>公立保育所も民間施設も認可保育所の運営は、国の基準や指針に基づき運営しております。</p> <p>安定した保育環境の整備と充実を図るため、公立保育所と民間施設の役割を明確にし、民間の活力を積極的に活用していきたいと考えております。</p> <p>保育士確保につきましては、全国的に保育士が不足していることから困難な状況であります。廃止や民営化した公立保育所の保育士について、他の公立保育所へ配置替えをし、定員まで入所できる施設を増やすことで待機児童の解消につながることを考えております。</p> <p>支援センターにつきましては、先進地の状況を調査研究し、保護者のニーズにあったより効果的な運営体制について検討し、より良い子育て支援環境の提供に努めてまいります。</p> <p>保育業務を効率化する一環として、ICTを導入しました。保育士の事務を軽減することで、子どもと向き合う時間が確保され、保</p>	C

	<p>P14</p>	<p>と考えます。ただし、国よりも充実した保育士配置規準については今後も継続、より拡充を図って欲しいと願っています。一方、保育所の定員については家庭的な保育環境を考慮して頂きたく、なないろ保育所のような200名規模の施設では未だに新しい環境に馴染めない乳幼児がいることも考慮するべきだと思います。</p> <p>③子どもと向き合う保育の質の向上を</p> <p>現代の保育事情、また、保護者が抱える養育上の悩みは、ICTの導入だけで解決する問題ではなく、保護者と保育者とのつながりの重視や、ベテランから若手までが揃った豊かで温かな保育の質の向上によって成立するものであると考えます。前次までの保育所整備計画では、“県内公立保育所初の”という冠をつけて宣伝を喜んでいるようですが、ICTの導入は一部の保育業務が効率化できるというプラスの面も確かにあるかも知れませんが、そのこと自体が保育の根本に関わる問題ではないと思います。実際に、1月から保育が開始されたなないろ保育所でも機器の不具合が報告されていると聞いています。また、なないろ保育所のような冷暖房完備で泥汚れのない平地だけの保育所が、本来自然と関わりながら育っていく子どもにとって本当に良い環境なのかどうか、お散歩などをする際の安全が確保された上での保育所整備であったのかどうかについても、今後のしない全体の保育の充実整備のために適宜、検証をしていく必要があると思います(勿論、昨今の異常気象下での冷暖房設置や、新築の建物を否定している訳ではありません)。</p>	<p>育の質の向上につながると考えております。</p> <p>先行して井野なないろ保育所に導入し、保育士や保護者の皆様にもご理解をいただいております。順次ほかの公立保育所に導入し、安定した保育環境の提供と質の向上につなげてまいります。</p> <p>保育所運営にあたっては、常に安全第一を考えており保育所整備に関しましても同様であります。</p> <p>取手市は「子ども・親・地域・共に育つまち取手」を基本理念に、次世代の子どもたちの育成を支援する地域作りを推進しています。</p> <p>令和2年1月に、旧取手第一中学校跡地に取手市立井野なないろ保育所・地域子育て支援センターを開所しました。多世代交流広場や防災機能等も兼ね備えた地域に開かれたエリアにリニューアルし、保育サービスの充実を推進しています。安定した保育環境を整備するために、これからも民間施設整備の助成を継続してまいります。私たちの子や孫の世代も魅力を感じ、住み続けてもらえるまちづくりに取り組んでまいりますので、ご理解をいただきたくお願いいたします。</p>
	<p>P7</p>	<p>④街づくりの源として保育行政を</p> <p>人口減少時代だからこそ、保育施設の廃止・民営化という経営重視の考え方ではなく、安定した保育環境を整えることで市内に若者を呼び込むことのできる街づくりをするべきであると考えます。こここのところ取手市は、小中学校の統廃合を進めてきており、また、市内にある私立女子中・高等学校の撤退までもがアナウンスされている状況です。藤井市政になってから、『公』の</p>	

		<p>役割を縮小させていく傾向が強いように感じていますが、兵庫県明石市や千葉県流山市のように“子育てするなら”といわれるような街にしていくための政策変更、また、すぐ近くで発展を続けている守谷市、つくばみらい市、つくば市のよい施策を見習うという姿勢が必要不可欠だと思います。財政に限られる中だからこそ、教育・医療・福祉・保育に重点的な予算配分を行い、取手市の未来に対して積極的に投資をしていくべきだと思います。</p> <p>○まとめ</p> <p>再度、申し述べさせていただきますが、施設の老朽化や民間への経営移譲を前提とした今回の「第四次取手市保育所整備計画」(特に、戸頭北保育所の廃止と中央保育所の民間への委譲)については、取手市の保育施策の衰退を招くものと考えますので、概ね反対の意思をもって今回の意見公募への意見提出とさせていただきます。内容がまとまらずに大変申し訳ありませんが記載は以上です。宜しくご査収下さい。</p>		
13	P7          P4	<p>第四次取手市保育所整備計画(素案)につきましてご意見申し上げたく、僭越ながらメールをお送りさせていただきます。</p> <p>この素案の一部、戸頭北保育所廃止の検討について、強く反対いたします。せっかくあづま幼稚園と戸頭東保育所で計126人も利用定員を増やせたのに、戸頭北保育所を廃止(=利用定員90人減)では、あんなに予算をかけた施設を作ったのに実質36人しか受け入れ児童は増やさないのであるか。素案の3教育・保育施設の現状(1)児童人口の推移に「児童人口は減少傾向で推移し…」とありますが、なぜ今後も減少ありきなのでしょうか。令和3年以降の児童人口の推移値の記載がありますが、このあくまでも予測に過ぎない数字は何の参考にもなりませんよね。いずれは取手市は児童人口は0になるのですか。児童が減る“だろう”から保育施設も減らすのですか。それで取手市が成り立ってゆくのか、到底そうは思えません。戸頭北保育所廃止の検討に関する第1回説明会で「老朽化した施設を建て替える予算</p>	<p>全国的に児童人口は減る見込みであり、当市においても同様と推測されます。この推計値に基づき、取手市子ども・子育て支援事業計画や保育所整備計画を策定しております。</p> <p>戸頭北保育所は昭和50年に建築され、建築後45年が経過しております。老朽化という喫緊の課題に対応するため、第四次取手市保育所整備計画の計画期間である令和2年から令和6年の間に、戸頭北保育所の廃止について時期も含め、検討していくことに、ご理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>市内には認可保育所・認</p>	C

		<p>がない」と子育て支援課課長はおっしゃいました。私は今後の取手市にはやはり人口増加が何よりも未来への最重要案件だと考えますが、中でも子育て世代＝就労世代は予算となる税収の大きな柱となります。この世代の取手市定住を促進させるためにも、保育施設の充実が予算を優先的に配分されるべきものではないでしょうか。人口増加させ納税を増やし、まちが財力を持ちそれを利用し市民のニーズに合わせて住みよいまちを作ることによって、私達住民がやっと安定し生活が潤うのだと私は考えます。人口が減少する現状を受け入れさまざまなもの削減対応するのではなく、広く受け入れる体制を持ち、人口を増やし、全世帯が安心して生活ができる魅力あふれるまちをつくる行政を行っていただきたく、是非お願いいたします。子が親となったときに戻ってきたくなるような取手市にしてください。それとも私の言うことはただの夢物語で理想像で寝言でしょうか。</p> <p>どうかこの市からまた保育所をひとつ廃止するなどというこれ以上の間違った選択を取手市がされぬよう再度のご検討を何卒よろしくお願いいたします。</p>	<p>定こども園・幼稚園が29施設あり保育施設の充実が図られております。認定こども園が保育園児の受け入れも担い、保育需要の受け皿の確保につながりました。</p> <p>公立保育所と民間施設の役割を明確化し、多様化する保育ニーズへの対応と、さらなる保育環境の充実を図るため、民間の活力を活用していきたいと考えております。ご理解いただきますようお願いいたします。</p>	
14	P6	<p>公立の数を区域にバランスよく配置とありますが、なぜ配置バランスで考えるのですか？実際の利用者（＋今後の利用希望者）の利便性などは考慮されないのですか？以前実施したアンケートで保育所を決める時に重視することの6割以上の方が「自宅から近いこと」、求めるのは「職員の対応の充実」と回答しているのに2つを持ち合わせた公立保育所をなくそうとしているということはアンケートから何を得たかったのですか？※私立保育所の対応が悪いと言っているわけではありません。我が子も私立保育所にお世話になったことがあり先生方には良い印象をもっています。ただ公立に比べ職員の入替わりが多いとは感じました。1人1人の対応が良くても職員の入替わりが多い保育所や公立に比べ職員の配置人数が減るであろう保育所で利用者が求めている「職員の対応の充実」を今以上に感</p>	<p>アンケートから保育ニーズを把握しました。</p> <p>公立保育所と民間施設の役割を明確化することで、更なる保育の質の確保や保育サービスの向上が期待され、多様化する保育ニーズへの対応が可能となると考えております。</p> <p>公立保育所も民間施設も認可保育所の運営は、国の基準や指針に基づき運営しております。</p> <p>4つの区域に公立保育所を1か所堅持することで一定の利便性を確保してまいります。</p> <p>安定した保育環境の整備</p>	C

	P15	<p>じられると思いますか？</p> <p>数年前に保育職員を数十人削減していて今度は足りなくなったという理由で「公立保育所を廃止、民営化して職員の補充をしたい」というのは都合よすぎませんか？2019年12月7日(土)に中央保育所に説明に来た(市の)職員の方がリーマンショックの影響で仕方なかったとおっしゃっていましたが、それはどこも同じです。民間の場合、保育士が不足したら必死で確保しようとしています。そうでないと運営ができなくなるので、なかなか保育士の確保ができないのは分かります。入っても退職してしまう方がいるのも分かります。しかしそれは他の会社でも同じです。減らして足りなくなったのであれば人を増やす努力をしていただきたいです。(退職した方に再度声を掛けるとか、方法はたくさんあると思います)</p> <p>ホームページ上でこの募集先の案件名が間違えて記載されていたにもかかわらず、半月も誰も気づかないのも気になりました。確認する人はいないのですか？(必ず記入)と書かれている以上、間違った案件名で出してしまった方もいるのではないのでしょうか？いなかったとしても提供先の案件名って重要ですよ？誤字脱字とはレベルが違います。この状況で「責任もって」とか「より良い支援をしたい」とか言われても説得力がありません。市の職員の方たちにとっては「それくらいのことで…」と感じるかもしれませんが、そう思った時点で利用者とはだいぶ民営化に対する温度差があると思って下さい。実際に子育てしている(していた)職員の方たちが民営化の案件に多く関わっているのですしたら、(子供たちが安定している現状で)大人の事情で今の環境をガラリと変えるのは避けたいという親の想いはわかりますよね？我が子はまだ未満児のため、このまま計画が進むと困ります。</p>	<p>と充実を図るため、民間の活力を積極的に活用していきたいと考えております。</p> <p>保育士確保につきましては、保育士の賃金改善や、退職者への声かけ、学生の保育実習の積極的な受け入れも実施しております。ほかにも取手市内の施設での就労につながるよう、ハローワーク共催の保育士・保育教諭就職合同説明会を開催するなど保育士確保に努めているところですが、全国的に保育士が不足していることから確保に苦慮しているところです。</p> <p>今後も継続して、保育士確保に努めてまいります。</p> <p>児童の保育環境が大きく変更にならぬよう、合同保育を含めた引継ぎ期間を十分に設け、公立保育所のよいところも引き継いでいただき円滑な移行を目指してまいります。ご理解いただきますようお願いいたします。</p>	
15	P7	<p>かつて、「子育てするなら取手で」と、若い子育て世代が取手に移り住んだ。私もその一人。</p> <p>自宅に近い場所での保育所は本当に助か</p>	<p>戸頭北保育所は昭和50年に建築され、建築後45年が経過しております。老朽化という喫緊の課題に対応す</p>	C

	<p>った。地域の保育所で、子どもも親も育てられた。その戸頭北保育所が廃止になるということを知り、人事とは思えない。存続して欲しいという願いは、現在の保護者だけでなく、卒園させた親や卒園生たちの願いでもある。とりわけ、戸頭北保育所は、駅や公民館、子育て支援センターにも近く、大変立地条件がいい場所にある。</p> <p>車に乗らずに、電車通勤する父母にとっては、大変便利な場所にある。別の保育所や民間の幼稚園、保育園に移せばいいという機械的なものではない。</p> <p>老朽化した施設の改修費が財政不足により捻出できないというのが主な理由だと思う。2月1日付けの取手市広報紙1面に、リニューアルした「井野なないろ保育所」の紹介が掲載されていた。新しい施設の素晴らしさが伝わってきた。</p> <p>それに比べ戸頭北保育所には、なぜお金をかけられないのだろうか。「4つの中学校区ごとに公立保育所1ヶ所配置の考え方に基つき」と素案の中にあるが、それは保護者や住民の意向ではないと思う。行政が打ち出した方針だと思うが、取手の公立保育所が次々に廃止、統合され、かつて12あったのに、最終的に4ヶ所にするという案に驚いた。</p> <p>若い方たちに、取手に住んでももらいたいと思うなら、子育て支援策を講じるべきで、その中の一つ、保育所の整備は欠かせない。広報紙には更に、民間施設の紹介もされており、北保育所を廃止したら、そちらに移ればいいと、誘導しているようだ。しかし、戸頭北保育所が今まで果たしてきた役割を考えるなら、簡単に廃止しないで欲しい。</p> <p>存続を強く求める。</p> <p>「子育て支援センターの運営の効率化についても検討」とあるが、具体的にはどうということだろう？「民間の運営方法を調査研究し」とあるので、民間委託ととも求める。十分な議論や説明を求める。</p>	<p>るため、第四次取手市保育所整備計画の計画期間である令和2年から令和6年の間に、戸頭北保育所の廃止について時期も含め、検討していくことに、ご理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>公立保育所のあり方を検討していくにあたり、保護者のご意見をうかがい、丁寧な説明とできる限りの配慮をまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>支援センターにつきましては、先進地の状況を調査研究し、保護者のニーズにあったより効果的な運営体制について検討し、より良い子育て支援環境の提供に努めてまいります。</p>	
16	P7	<p>孫が北保育所に通う友人から「廃止されるらしい、心配」と聞きました。我が家の</p>	<p>戸頭・永山中学校区域には7か所の教育・保育施設が</p> <p>C</p>

		子ども達は通所しませんでした。バザーやお祭りにはよく参加しました。今も脇を通ると、子どもたちがのびのびすぐす姿を目にします。地域から公立の保育所（しかも駅チカ）がなくなると若い家族が増えないのではと不安になります。戸頭が30年前の様に活気のある地域になってほしい。廃所ありきでなく、市民の意見をお聞きください。	あります。これからも公立、民間を問わず、若い世代の支援や地域の方々との交流を絶やすことなく活気ある保育所運営に努めてまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。	
17	P7	<p>子供たちは取手の公立保育所でお世話になりました。取手市の保育に携わる方々の熱意に信頼し、安心して子育てをし、通勤をし働くことができました。</p> <p>戸頭北保育所は唯一駅に近く、早朝保育、夕方の時間外延長保育をお願いして仕事に通うことができた保育所です。子供も安心してすごせる居住地にある保育所でした。</p> <p>この様に自然環境も良く立地条件に恵まれている公立の戸頭北保育所を廃止しないでください。</p>	戸頭北保育所は昭和50年に建築され、建築後45年が経過しております。老朽化という喫緊の課題に対応するため、第四次取手市保育所整備計画の計画期間である令和2年から令和6年の間に、戸頭北保育所の廃止について時期も含め、検討していくことに、ご理解いただきますようお願いいたします。	C
18	P7	<p>戸頭北保育所廃止に反対します。保育計画読みました。</p> <p>保育士不足のなか、人材の確保はとて大変で、人口が減っていれば廃止の考えが出てくるのは当然だと思いますが、取手の中でもゆめみ野地区に近い公立保育所を潰せば、若い世帯が取手は子育て支援に力を入れていないと思われると思います。他の施設を増員して数は確保できるかもしれませんが、定員を倍近くに増やせば、保育の目が届きにくくなりますし、行事の内容やイベント時の駐車場など、問題が発生すると思います。</p> <p>私は井野なないろ保育所に通わせていますが、人数が倍増したため、行事の簡略化を心配しています。今あるところを増やして人数を確保しても、その中で大変さや不自由さが出ます。</p> <p>ゆめみ野地区の流入を考えると数も不十分に思います。</p> <p>また中央保育所も駅から近い公立保育所のため、民営化すれば同じように取られると思います。</p>	<p>市内には認可保育所・認定こども園・幼稚園が29施設あり、認定こども園が保育園児の受け入れも担うようになりました。ゆめみ野地区がある戸頭・永山中学校区域には7つの施設があり、民間施設の定員の拡充が図られました。</p> <p>中央保育所がある藤代・藤代中学校区域では、藤代駅前に保育所が増設され保育需要の受け皿の確保につながりました。</p> <p>公立保育所と民間施設の役割を明確化し、多様化する保育ニーズへの対応と、さらなる保育環境の充実を図るため、民間の活力を活用していきたいと考えます。</p> <p>私たちの子や孫の世代も魅力を感じ、住み続けても</p>	C

		公立保育所の存続を切に願います。	らえるまちづくりに取り組んでまいりますので、ご理解をいただきたくお願いいたします。	
--	--	------------------	---	--

※意見公募は政策等の賛否を問うものではありません。有用な意見を政策等に反映させるため、意見の内容に着目し、これを考慮した市（実施機関）の考え方を掲載しています